

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしすとはあく

第 69 号

2022年5月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集

with/after コロナ時代の
市民活動のカタチ!

NPO法人や市民活動団体は、
コロナ禍でどのように対応して
乗り越えて来たのか?

また、仲間とどんなことを話し
合ったのか?

コロナ禍を乗り越えて前に進む
市民活動団体にお話を伺い
ました♪



一般社団法人ひとくらす (石川町)

写真提供：一般社団法人ひとくらす



NPO法人
民俗芸能を継承するふくしまの会
(郡山市 / 二本松市)

写真提供：NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会



NPO
紹介 NPO法人 makana (郡山市)



ことほく合同会社 (田村市)

写真提供：ことほく合同会社

NPO 法人 NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会



④ NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会 事務局長 國分 球子さん

國分さん 地域のたからである民俗芸能は、地域と住民をつなぎながら、保護団体により継承されてきました。近年、社会の変化に伴って継承が困難になる団体が増えています。東日本大震災前に県が実施した調査では、福島県内では、800団体（浜通りは430団体）あったのですが、震災後の調査で所在確認ができたのは、県内約700団体、浜通りは350団体でこの内6割が継承の危機にありました。

そこで、保護団体と関係機関をつなぎ、専門家が中間支援活動を行う団体の設立が求められ、2015年にNPO法人を立ち上げました。

主な活動内容は、民俗芸能の復興をサポートする事業で、継承に課題のある保護団体への助言や指導、行政機関等への橋渡しや用具類の整備に必要な補助金申請業務等を行っています。



写真提供：NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会



写真提供：NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会

國分さん コロナ禍での私たちの活動は、影響を受けずに実施できるものもあるのですが、何ができるのかを考え、工夫しながら柔軟に行っていました。例えば、人を集めて行っていたものを個別に訪問することで対応しました。結果的に相手と時間をかけてじっくり話し合うことができ、大きな収穫がありました。コロナ禍だからこそ必要な機会であったとも感じています。

サントリー 地域文化賞を受賞

2021年度のサントリー地域文化賞を受賞しました。私たちの活動を評価し推薦してくださった関係各社の皆様に感謝しています。今後も民俗芸能を継承している保護団体への支援を丁寧に行いながら、この地域の文化を子どもたちに伝えていく活動や福島の民俗芸能に関する研究資料の整理なども進めていきます。そのため組織のあり方も検討しながら取り組んで参ります。

公式 Web



公式 FB



合同会社 ことほく合同会社

スタート時、どんな話をしたか？

私たちは、もともと二拠点生活やダブル・パラレルワークで働く者同士でしたので、互いの想いやスタイル、自主性を尊重しています。

「コロナ禍でのスタートでしたが、あまり気負いせず、やりたいことや出来ることを協力しながらやっていく」といった話をしました。

荒井さん 2020年7月7日に、田村市の地域振興・課題解決を目的に、元地域おこし協力隊の小峰司と、元田村市職員の佐藤健吉とともに、3人できことほく合同会社を立ち上げました。

主な取り組みとして、市産材を活用した空き家の再生、市内の自然・文化・歴史をモチーフとした商品開発・販売などを行っています。



④ ことほく合同会社 共同創業者 荒井 夢子さん

「コロナ禍での活動について？」

荒井さん 思うように動けない時だからこそ、「できる人が、できる時に、できることを」の気持ちを大切に活動しています。

3人とも、オフィスを必要としない働き方を基本としています。今年からは取って、市内の空き家を利用し、独自のオフィス兼「コミュニティスペース」を設けました。コロナ禍のみならず、自分たちのライフスタイルも含めた様々な状況に応じて、最適な働き方を柔軟に選択できるようにするためです。

今後の取り組みについて

田村杉を使ってDIYしている空き家を完成させ、入居希望者にサブリースする予定です。市産材と空き家の活用、移住・定住・多拠点居住の支援をうまく結び付けていければと考えています。

また、商品開発にも更なる力を入れ、田村市のあれこれを知ってもらうきっかけになるような、身近なアイテムを生み出していきたいです。

是非、SNS等でチェックしてみてください！

「コロナ禍での活動について？」

荒井さん 思うように動けない時だからこそ、「できる人が、できる時に、できることを」の気持ちを大切に活動しています。

3人とも、オフィスを必要としない働き方を基本としています。今年からは取って、市内の空き家を利用し、独自のオフィス兼「コミュニティスペース」を設けました。コロナ禍のみならず、自分たちのライフスタイルも含めた様々な状況に応じて、最適な働き方を柔軟に選択できるようにするためです。

今後の取り組みについて

田村杉を使ってDIYしている空き家を完成させ、入居希望者にサブリースする予定です。市産材と空き家の活用、移住・定住・多拠点居住の支援をうまく結び付けていければと考えています。

また、商品開発にも更なる力を入れ、田村市のあれこれを知ってもらうきっかけになるような、身近なアイテムを生み出していきたいです。

是非、SNS等でチェックしてみてください！

公式 Web



Web Shop



写真提供：ことほく合同会社



写真提供：ことほく合同会社

一般社団法人ひとくらす

一般社団



◎ 一般社団法人ひとくらす
代表理事 三森 孝浩さん

写真提供：一般社団法人ひとくらす

三森さん 活動の経緯は、2015年、私たちの住む石川町中谷地区にある旧中谷第二小学校が廃校になる際に、思い入れのある木造校舎を取り壊さずに残したいという声があがり、利活用検討会にて、地元の私たちの手で実施を検討して参りました。

他県の事例などを研究し実験的にイベント開催などに取り組み、2017年12月に一般社団法人を立ち上げ、2021年春に、自然環境活用型地域交流施設としてオープンしました。

「コロナ禍でのオープンはどうでしたか？」

三森さん はい、不安はもちろんありました。しかし、結果的に幸いしたというか、大々的に多くの人を受け入れて始めていたら、私たちメンバーも疲れてしまっていたかもしれませんが、一歩ずつ着実に進めてくれました。



写真提供：一般社団法人ひとくらす



写真提供：一般社団法人ひとくらす

昨年一年間の事業目標は、概ね達成出来ました。当初から予想していた県外だけでなく、近隣の郡山市や須賀川市のスポーツ団体の皆さんなど県内の方々からの利用希望がありました。

コンセプトの柱である「火」と「暮らし」のテーマに共感して頂いた、様々な方が、仲間のよう声をかけて頂き、来て下さっています。

暖炉のあるコミュニティスペースは、この地域で暮らす人達が自由に集える場所として設定し、宿泊やレンタルオフィスの利用者も集い、交流が出来る場所です。

他の団体にアドバイスはありますか？

私達が、良く話すのは、「楽しんでやろう」ということでした。ここで楽しいことをしていると伝わるようにすることで、様々な思いがけないつながりや新しいアイデアを持ち込んでくれる仲間が増えて行くことを実感しています。

是非、団体やグループの勉強会・研修会などで、石川町へ遊びに来て下さい。お待ちしております。

公式 Web



◎ NPO法人makana(マカナ)
代表理事 緑川 浩郎 さん



写真提供：NPO法人makana

NPO 法人makana(マカナ)

NPO法人紹介コーナー



緑川さん 4月22日にNPO法人を設立しました。法人名の「makana(マカナ)」は、ハワイ語で贈り物という意味を持ちます。

私たちは、子どもを育てながら働く女性を応援する「夕食と学習支援付の放課後児童クラブ(大人も食事が出来る)」を始めます。特徴としては、夜の22時まで営業することです。例えば、ママは迎え時間を気にせず残業が出来て、お迎え時にママが食事を取ることも出来ます。もちろん、パパが迎えに来ることもできますし、食事も可能です。通常の平日は、一時預かり保育、放課後児童クラブを実施し、長期休暇期間は、朝から預けていただけます。土日は、子ども食堂や自然体験など様々なプログラムで一般開放します。

また、宅配物の預かりなど利用いただく方々の様々な困りごにも寄り添って参ります。

makanaは、単にサービスの提供という一方通行ではなく、出産・子育てなどで短い時間しか働けない方でも、労働力を提供いただけるようにすることで、双方の関係づくりを目指します。

子育てに優しい環境をつくるために、様々な人や企業・団体と連携した仕組の検討を重ねてきましたが、まだまだ皆さまの力が必要であると感じています。

「すべての親が笑顔で仕事が出来て、子育てで仕事や自己実現を諦めない社会をつくる」ことを目標に、子育て中のママへ時間と場所の贈り物が出来、地域の子育てプラットフォームとして、他の地域にも広く展開できるよう取り組んで参ります。

公式 Web



公式 FB



町内会の皆さんへ



町内会の困りごとをご相談ください！

例えばこんな相談（町内会のDX）

- (1) 簡単なパソコン用会計ソフト（無料）が欲しい
- (2) 役員間の連絡用のLINEグループを活用したい
- (3) ZOOMの体験講習会の実施

その他、どんなことでもお気軽にご相談ください。

サポートセンター相談コーナー

ズバツと解決！



相談事例

コロナで活動が止まってしまったNPO法人の相談

理事会で話し合うために、今後の活動について、どのようにしたらよいかという相談がありました。

- ① コロナ禍でも取り組める活動の提案
- ② 活動資金や必要な資源を案内
- ③ 解散する場合の費用や手順などを案内

こんなことをご案内し、早速、理事会で相談してみるとのこと。相談に来て良かったと笑顔でお帰りになりました。



NPO法人を設立しませんか！

設立相談について、随時 受付中！

◆NPO法人の設立には、約3か月かかります。
（余裕をもって準備しましょう。）

◆でも、ご心配なく。準備から設立までのスケジュールを一緒に作成します。

こんなお手伝いをしています。

- ① 設立総会の開催を応援します。
- ② 認証を受けるための手続きを手助けいたします。
- ③ 設立後の手続きについて、分かりやすく説明します。
※出前講座も実施しています

発行 郡山市市民活動サポートセンター

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始

電話/FAX 024-924-3352

メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp

ウェブサイト <https://assistparkkoriyama.net/>

住所 〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所 西庁舎 3 階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO 活動推進課

運営受託 NPO 法人うつくしまNPOネットワーク

相談無料/予約制

専門相談会

●多文化共生社会の実現

●SDGs の推進

●クラウドファンディング活用



相談テーマ：多文化共生社会の実現

専門相談員

三田真理子

5/31 水

6/28 水

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：SDGs の推進

専門相談員

鷺谷 恭子

5/25 水

6/29 水

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：クラウドファンディングの活用

専門相談員

中瀧 亮兵

5/26 木

6/30 木

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



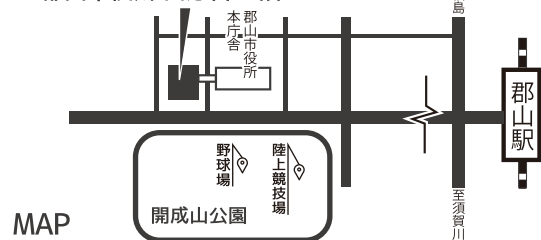
登録団体の皆様へ

「こおりやまNPOウェブガイド」特設サイト



サポートセンターでは、登録団体の皆様の団体ページを順次、作成・更新しています。こおりやまNPOウェブガイドのサイトには、地域・NPO法の20分野・SDGsの17分野で検索できるようになっています。皆様の団体ページをご確認いただき、情報の更新に関するご連絡をお待ちしています。

郡山市役所 西庁舎 3 階



MAP

Web

Twitter

Facebook

